

事業者向け

児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員10名に対し、 指導訓練室が40㎡以上確保できているか	8			職員の人数を合わせると狭さを感じる。今より広さを確保できるといい。 →より広く活動場所が取れるよう、スペースの有効活用ができるよう検討している。
	2	職員の配置数は適切であるか	8			
	3	事業所の設備等について、こどもが怪我をしないよう適切に配慮がされているか	8			危険と思われる場所は都度改善している。 ヒヤリハットが出た場所等については職員が共有し、その都度改善を実施している。
	4	設備等へ安全を配慮した措置がなされているか？（電灯やガラスの飛散防止・柱へ衝撃吸収材の取付・階段手摺など）	8			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	1		担当する職員が業務に関わることで話し合っている。→全職員が共通理解ができるように努力する。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	8			
	7	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			コロナの影響で実際に出向く研修は減っているが、WEBでの研修を受講し共有している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7		1	担当ではないので分からない。 →担当職員が6ヶ月に1回アセスメントを行い、計画書を作成している。常に全職員が確認できるようになっている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントシートを使用しているか	6	2		職員同士が都度話し合いをして決定し、取り組めている。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の発達支援（本人支援及び移行支援）、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	7		1	ガイドラインについてまだ勉強不足である。→業務内でも研修や勉強時間を作りながら、個々がスキルアップできるような環境を作る。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8			
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			
	14	活動場面ごとに課題を決め支援しているか	8			

供	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8			
	16	支援開所前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			
	17	支援終了後には、職員間で打合せを行い、その日行われた支援を振り返り、気づいた点を共有しているか	7	1		気づいた点がある際は都度共有している。また支援終了後ではないが、会議時にも共有している。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1	1	担当者が実施しているので、詳細は分からない。→共通理解ができるように職員間の情報共有が常に行えるよう努力する。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	2		担当者が実施しているので、詳細は分からない。→共通理解ができるように職員間の情報共有ができるよう努力する。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	2		担当者が実施しているので、詳細は分からない。→共通理解ができるように職員間の情報共有ができるよう努力する。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3	4	現在受け入れがなく、対象となる児童がいない。
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等の間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	1	担当者が実施しているので、詳細は分からない。→理解して頂けるよう、職員間の共通理解を深める努力をする。移行支援の利用児童が少ない。また事業所に通所していたことを隠したい家庭がある。
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1	2	担当ではないのでよく分からない。→担当の有無に関係なく、全職員が把握できるように研修等を行い、理解していただく。該当児童がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2		連絡が来れば都度助言を受け対応している。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			
保護者	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	1		子どもへ目を向ける支援になっている為、職員全員がペアトレの心得を活かしているわけではない。担当職員がペアレントプログラム講師として認定されており、保護者面談、対応を担当している。また保護者に対しては外部へのペアトレ企画に呼びかけている。ペアトレではないが、面談時には家庭での支援を確認し、助言している。
	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1		担当者が実施しているので、詳細は分からない。→共通理解ができるように職員間の情報共有ができるよう努力する。
	29	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	1	1	担当者が実施しているので詳細は分からない。→支援計画書は常に全職員が確認できるようになっている。
30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8				

への説明責任等	31	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			
	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			毎日ブログを更新している。
	33	個人情報に十分注意しているか	8			
	34	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			連絡帳や送迎時のやり取りに加え、LINEでの伝達ツールを追加した。
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	2	2	コロナ渦で外部との接触や受け入れができない状況。例年、三郷市の交流会イベントに参加している。
非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1		
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			
	38	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等こどもの状況を確認しているか	8			
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、サービス計画に記載しているか	8			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7		1	医師の指示書があるかは分からない。→現在、特に医師の指示が必要な重度なアレルギー症状がある児童はいないが、医師の指示書が必要か否かは保護者へ確認をしている。 食物アレルギーに関しては医師からの指示を保護者から連絡を受け、対応している。
	42	ヒヤリハット記録を作成して事業所内で共有しているか	8			